

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心児デイバーンandういんぐ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月1日		~ 2024年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年 12月1日		~ 2024年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ施設内に医師が常駐しており、緊急時の対応はすぐに医師の指示を受けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、医師には利用児の情報を伝えて共有をしている。 医師から、医療的ケアについて研修を受けている。 	今後も医師と利用者情報を共有していき、緊急時の対応がスムーズに行えるようにしていく、
2	事業所施設内に厨房があり、利用者に合わせて様々な食事形態を提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、栄養士と共に聞き取りを行い食事形態を決定してから提供を行っている。 日々の利用児の発達状況を見て形態の変更があれば職員から保護者様へ提案することがある。 	今後も利用者に適した食事を提供ができるように栄養士と連携をしていく。
3	栄養士、歯科衛生士、PT、OT、STと様々な職種が働いているため、連携しながら様々な相談ごとにきめ細やかに対応ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様より相談ごとがあれば各関係者に伝えて保護者へフィードバックしている。 様々な職種が定期的に研修会を開催している。 	今後も多職種で支援を考えていけるように連携を継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用対象地域すべての送迎が困難である。	送迎車と送迎人員が限られており、複数の学校や地域への送迎が難しい。	遠距離への送迎は難しいが、学校の数や送迎方向が複数になっても対応できるように体制を強化していく、
2	多くの知多圏域の利用者がひいらぎ特別支援学校に通学されているが、事業所までの距離が遠く、受け入れが限られてしまう。	利用の希望に対して、学校までの距離が遠いことから人員や送迎車の配置が困難なことが多く、受け入れが限られてしまう。	人員や送迎車を増やしていく。